

目 次

．平成 27 年度 総括研究報告

研究代表者：棚林 清（国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室）

．平成 27 年度 分担研究報告

バイオセーフティのエビデンスに関する研究

- 1．病原体輸送容器に対し消毒・滅菌処理が及ぼす影響（棚林 清）

バイオリスク管理の国際標準化についての研究

- 2．学部におけるバイオリスク管理教育の実践と検証（藤本 秀士）
- 3．特定病原体 3 種・4 種およびその他の取り扱いに関する国際管理基準の実効性の検討（御手洗 聡）

ヒヤリハット事例の共有データベース構築に関する研究

- 4．事故・ヒヤリハット事例の地方衛生研究所等での病原体取扱い教育訓練への活用（佐多 徹太郎）
- 5．学部実習における病原体暴露・感染のヒヤリハットおよび事件事例の検証（藤本 秀士）
- 6．封じ込め実験室における事故・ヒヤリハット事例の収集と効果的対策の検討 ポリオウイルス病原体バイオリスク管理の国際標準化に関する研究（清水 博之）
- 7．感染性物質の輸送におけるヒヤリハット事例の収集とリスク評価（安藤 秀二）